

金田町人の動き

世帯数 2,211 減 2
人口 8,887
男 4,312
女 4,575
出生 35
転入 37
転出 4
死亡 4

かなだ

第117号

金 田 町 報
発行所 金田町中央公民館
編集兼発行人 清水 義雄
印刷所 九州機関紙印刷所
電 話 093 4461

子の年を迎えて

町長 大島 六郎



毎年、新年を迎える言葉
ということになりますと、
同じような文句になってし
ますので、せめて私の誠心

まいます。それは主題が同
じだから仕方ないことだ
と思えます。

町民八千八百名の皆さん
明けましておめでとうござ
います。昨年中は皆様のご
指導とご鞭撻をいただき
どうやら曲りなりにも大過
なく町政に専念して参りま
した。本年もなお一層、努
力をご厚意にお報い申し
上げたたい、真心から念じ
ていますので、何卒よろし
くお願いします。今年も戸
別に年賀状を差上げまし
が、印刷ばかりでは何の変
哲もなく心のふれ合いと、
何も、正月らしい古淡の味

もなく、そうしたイメージ
は遠く逃げ去る感じが致し
ますので、せめて私の誠心

の一端だけはお汲み取りい
ただきたいと、愚筆を加え
させております。そうした
気持ちからでありますので宜
敷くお願い申し上げます。

今年十二支の第一、子
の年であります。この次の
子の年までは、私は多分生
きていないことは、冥途から
皆様にお知らせしますが、で
きる限り御年賀を申し上げて
世で、申し上げ度いと欲
張った考えで一杯です。憎
まれ子世にはこびること申
しますので、案外永もてす
るかも知れません。
私はよく正月が来ますと
戦地での正月を思いだし

成人式御案内

新しく成人になった青
年諸君の前途を祝い励ま
すために、一月十五日午
前十時より中央公民館に
おいて、昭和四十六年度
成人式を挙行いたします
ので、左記該当の方はぜ
ひ御出席下さるようご案
内申し上げます。

で、飯盆の中にも親指程の
もの二ヶ、塩湯の中に沈ん
でいるだけでした。それで
も遠く山海萬里の内地の正
月を偲び、少しづつ噛みし
めながら、母や妻子の雑煮
の舌鼓を喉に映じ、そっと
不覚の涙に眼頭を拳で拭っ
たものです。けれどもそれ
は、勝ち戦の時だけで、
敗戦の暗雲垂れこめ、砲撃
の嵐に、千古の密林は悲鳴
をあげて吹っ飛び、身を回
地に伏せて倒木の下から這
い出で、友と手を取り合っ
て生命の悦びを、身に泌み
て感じた正月もありまし
た。

いまは平和。世代は変わ
り、毎年正月らしい雪や寒
風の季節に、炬燵の中に足
を垂らして、お神酒の顔も
赫く温かく、腹存分に喰い
ました。

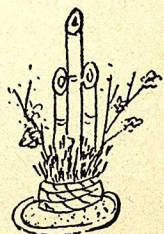
平和への希求と、その恵
沢の有難さは、お互い大衆
が守り、大衆が大衆に与え
るものです。大衆が大衆を
守らない時には、文化は遠
く逃げ去り、恩恵は永劫に
宇宙へ天へ落ちて、戻ること
の困難さを、忘れてはなら
ないと思います。それを忘
れないで今年一年も、皆様
と共に頑張りたいと思っ
ています。

何卒よろしく。今年も皆
様のご健闘をお祈りして止
みません。

名誉公民

あけまして
おめでとう

ごさいます。



- | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 宇都宮 節 | 政光 儀七郎 | 宮本 政兼 | 大島 六郎 | 金山 玄暉 | 香月 豊 | 植高 滝間 | 吉田 広三 | 吉田 桃太郎 | 村上 渡 | 辰島 芳春 | 稲富 幹雄 | 竹本 雪雄 | 松本 幸吉 | 池永 幸吉 |
| 辰島 保 | 大井 政則 | 植高 勇太郎 | 前川 秋太郎 | 吉田 春義 | 藤林 俊信 | 藤元 俊治 | 中村 正 | 中島 力 | 池田 清 | 池田 升雄 | | | | |

刑事裁判と証人

福岡地方裁判所田川支部

刑事裁判と証人について
A先日、わたくしのところ、〇〇地方裁判所の刑事部から「証人召喚状」という書面が送られてきました。実は、二カ月前ほど前に、わたくしの家の前で交通事故があり、通行人がけがをしたのですが、たまたまわたくしがその事故を見ていたので、裁判所では、事故のときの様子について、わたくしに証人としてたずねたいということのようです。しかし、このところ会社の仕事で忙しかつて、当日休みを取れそうもないので、裁判所には行かないで済ませようと思うのですが、どうでしょう。

は、裁判所はそれらの被害や目撃者に裁判所にきてもらって、法廷でも一度調べることにします。これを証人尋問といいますが、この場合には、検察官、弁護士、被告人等。それぞれいろいろな角度から質問を發し証人の記憶や供述にまちがいがなければどうかを十分確かめるわけで、この証人尋問は、正しい裁判をするために非常にたいせつなものなのです。もちろん裁判所としては、証人が進んで出頭してくれることを期待しているわけで、「勾引」をするのは、いわば最後の手段ですが、「召喚状」には、そのことが注意的に書いてあるのです。A その呼出しがあつても出頭しなくてもよい「正当な理由」がある場合と、この場合は、どんな場合なのですか。

このように特別な身分関係のない、単なる友人であるような場合には、被告人の不利になるような事柄についても証人は証言を断ることはできないこととされているのですね。そこで、あなたの場合も、被告人が古くからの知合いであるというだけでは、証言を断ることはできないわけですね。A 証人のことについては、よくわかりました。しかし、わたくしが事故を起こしたわけでもないのに、証人として呼ばれるのはずいぶん迷惑なことだと思っています。B そうですね。迷惑と思うのが人情かも知れませんが、しかし、国の裁判が正しく行なわれるということは、われわれ国民にとつてたいせつなことではないでしょうか。そして、裁判が正しく行なわれるためには、事件に関係のある証人を広く取り調べる必要があるわけですが、事件の被害者やあなたのような目撃者の証言は証拠として特に重要なものなので、そういう人たちが証人として裁判に協力することがどうしても必要なのです。証人として裁判所に出て行くことは、このように国民

行政區長
一區 古賀 荒太郎
二區 辰島 生
三區 兼本 俊一
四區 伊波 清
五區 吉田 保
六區 佐藤 治男
七區 渡辺 昭利
八區 春永 菊夫
九區 政光 清
高見區 岡原 三千年
福岡區 原 弘
太陽區 河野 興吉
農業委員會
委員長 吉田 保
副委員長 辰島 生
委員 市丸 定行
佐藤 治男
藤元 俊治
吉田 志郎
森 績
大島 虎雄
井手元 正男
古屋 寿美
桑野 紋次
松垣 米蔵
藤本 李次郎
若林 与四郎
植高 秋太郎
荒木 政男
島野 茂
植高 瀧間
貞國 榮治

祝日には国旗を掲げましょう

全部の利益のために、国民のひとりひとりに課せられた重大な務めなので、迷惑な点はがまんすべきでしょう。
A よくわかりました。そんなに重要なことでしたら、よくこんで裁判に協力することにしましょう。
B このような事情から、すでに警察や検察庁で事情

た握失は、なんとかしてもらえのでしょうか。
B 証人として裁判所に出頭し、証言をした場合には出頭に必要ない交通費のほかに日当が支給されますし、裁判所への出頭のために旅館等に泊まらなければならなかった人に対しては、宿泊料も支給されます。また、遠い所から出頭するため旅費が高額となり、それを自分

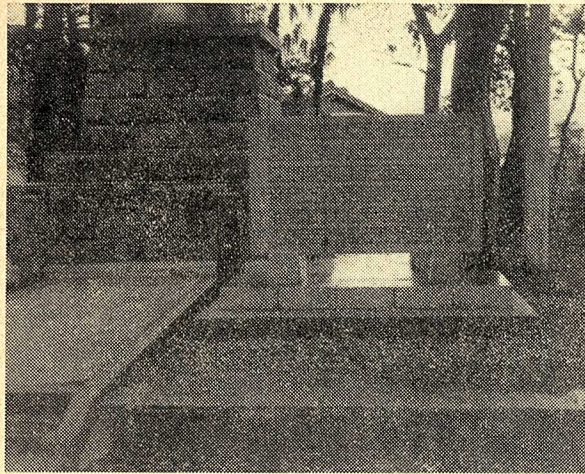
うに、刑罰裁判では、証人の証言が事件の真相を明らかにする力になることが多いので、そのような証人が裁判所から呼び出しを受けながら、正当な理由もないのに、どうしても出頭しようとしないうちに、裁判所では、「勾引」という方法で強制的に裁判所に出頭させることができるものとされているのです。

青少年問題協議會
委員長 大島 六郎
副委員長 原田 豊茂
委員 宇都宮英一
岡 幸平
香月 豊
藤本富士松
高見 芳三
鶴田 繁
早瀬 円雄
小野トメ子
大井 義一
金山 玄淨
藤林 俊信
中島 力
太田 順之
桑野 隆泰
清水 義雄

大東亜戦争、支那事変 戦没者氏名碑建立さる

福祉係

このたび、大東亜戦争、支那事変において戦没され



た方々の氏名碑を稲荷神社境内忠魂碑の前に建設いたしました。この氏名碑は戦争中国家の安泰を願って散華された本町出身二五七名の方々のお名前を刻み、後世にとどめるため、遺族会の要請に基づき建設委員会、町議会稲荷神社その他関係者のご協力により完成し去る十一月十六日除幕式を挙行いたしました。

税務課 植高 芳己
課長 藤村 勢津子
課長補佐 吉田 康男
徴収係 林 淳一
係長 花石 正人
有線放送係 香月 健次
河井 比佐子
政光 みちよ
桑野 愛子
教育委員会事務局 島津 幸平
教育長 幸平

ろう学校からのお知らせ

福祉係

みなさまの御近所に耳の聞こえない子どもさんや、ことばの不自由なお子さんはいませんか。直方の県立ろう学校では、三歳のお子さんからお預りして保育

部では職業教育を施し、卒業の時は立派に独立して社会へ出ています。ただいま昭和四十七年度の入学案内をいたしております。くわしいことは、直方市頓野、福岡県立直方ろう学校（電話直方05351）にお問い合せ下さい。

人権擁護委員 松若 太
行政相談委員 香月 豊
有線放送電話事業運営委員會
委員長 吉田 保
副委員長 藤田 耕三
委員 藤川 義臣
大熊 康郷
井上 明
浦田 由光
渡辺 照利
有光 國次
大島 陸雄
大森 敏
杉 茂
吉田伊太郎
堀池 秋正
森 澄夫
政光 三三
教育委員會
委員長 宇都宮英一
委員 友清 隆雄
植高 大證
吉田 繁雄
島津 幸平
公民館運営審議會
委員長 池田 升雄
副委員長 辰島 生
委員 加治 馨
桑野 末弘
吉原 茂
小野トメ子
永末 久一
石井 康文
森 豪雄
有光 國次
前川 二郎
長谷川新吾
地区公民館長
一區 古賀亮太郎
二區 辰島 生
三區 坂田 信吾
四區 伊波 清
五區 吉田 友市
六區 宮本 力雄
七區 人見 彦馬
八區 神崎一 渡辺 勝由
九區 神崎三 春永 末吉
十區 神崎四 池長 幸平
南木 貞國 榮治
高見 武田 秋己
福吉 原 弘
太陽 河野 興吉

支給されます”

開設のお知らせ

ご芳志ありがとうございます
ございました
中村正殿
御尊父岩四郎様香典返礼として
ご寄付をいただきました。ご
芳志に添い、最も有意義に使用
させていただきます。
金田町社会福祉協議会

誤報訂正

町長	大島 六郎	助役	池長 又蔵	収入役	貞国 晋	総務課	藤川 義臣	課長	田中 純生	財政係	岩本 益見	庶務係	早川 正春	係長	吉田 民春	西山 惇子	吉田 幸子	植高 知昭	林 末子	安枝 進	企畫係	寺内 貞美	係長	辻 智子	住民課	福田 香代	課長	鶴田 繁	福祉係	春永 正義	市岡 弘子	柳沢 昌良	石井 康文	保健係	植高 茂樹	木戸 義幸	若林 良明	森藤 百合子	住民係	若林 末松	荒牧 幸子	産業建設課	犬丸 文雄			
鈎害係	荒川 義輝	課長補佐	原口 政明	嘱託	岩田 富士登	土木係	玉井 勝信	技術係長	小西 泰右	事務係長	谷口 重太郎	登記係	辰島 一明	係長	中川 隆	桑野 香代子	高橋 峯男	勸業係	吉田 利秋	桑野 軍治	水道課	大熊 康郷	課長	和田 正氣	係長	犬丸 文雄	東 明生	辻 幹男	渡辺 功	職工	勝野 悦次	上金田浄水場	中村 喜代治	玉浦 次男	早瀬 文雄	福吉浄水場	原 団七	太陽 〃 進	同和对策室	室長	田村 関松	北川 清水	福高 芳雄	書記長	大森 敏	羽山 信子